

令和7年3月市議会定例会議案概要説明

令和7年3月市議会定例会は、3月3日に招集することで、本日、告示を行いました。

3月議会に提案いたします議案としては、甲議案として17件、乙議案として令和7年度当初予算関係6件と令和6年度補正予算関係6件の計12件、さらに諮問1件、報告1件について提案し、ご審議をお願いすることとしております。

なお、人事案件であります「鳥栖市固定資産評価審査委員会委員の選任について」、「人権擁護委員候補者の推薦について」は、後送議案といたします。

それでは、令和7年度当初予算案及び令和6年度3月補正予算、その他議案の概要につきまして、説明いたします。

令和7年度当初予算のポイント

子育て支援の充実

子育て支援と学校教育が充実したまちづくりを進めます。

- 産婦健康診査事業
- 子どもの医療費助成事業
- 認定こども園施設整備事業
- 教科「日本語」教科書改訂事業 など

防災力の向上

災害等に備え、防災体制の強化・充実を図る取り組みを進めます。

- 防災備蓄事業
- 防災井戸整備事業
- 防災行政無線設備更新事業
- 消防団第4分団(麓地区)地域防災拠点施設整備事業 など

サガン鳥栖支援

スポーツ振興の柱であり、地域の宝であるサガン鳥栖へのJ1復帰に向けた支援を進めます。

- サガン鳥栖支援事業
 - ・2025シーズン公式戦ホームゲーム市民招待事業
 - ・2025シーズン「ユニフォームスポンサー」権の購入
 - ・2025シーズン公式戦鳥栖スタジアム使用料免除 など

2

今回提案いたします「令和7年度当初予算」につきましては、

- ・ さらなる「子育て支援の充実」
- ・ 災害に強い街を目指す「防災力の向上」
- ・ 1年でのJ1復帰に向けた「サガン鳥栖支援」

この3つを特に注力するポイントといたしました。

鳥栖市重点戦略に対応する新規事業等

まちのポテンシャルを高める都市づくり	○田代大官町・萱方線等道路改良事業(2工区) ○鳥栖駅周辺駐車場整備事業 など
くらしに活力と豊かさを感じる都市づくり	○サガン鳥栖支援事業 ○全国大会開催補助金 など
命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり	○防災備蓄事業 ○防災井戸整備事業 など
市民と環境にやさしい都市づくり	○次期リサイクル施設整備事業 ○旧ごみ焼却施設解体及びストックヤード整備事業 など
子育て支援と学校教育が充実した都市づくり	○こども家庭センター設置 ○産婦健康診査事業 など
産業と観光の魅力を高める都市づくり	○マンホールカード作成事業 ○勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業 など
効果的・効率的な行政運営のための行財政改革	○自治体DX推進事業

3

第7次鳥栖市総合計画において特に私の公約との親和性が高い事業を「重点戦略」として位置付けておりますが、「重点戦略」を構成する7つの柱に該当する個別事業について、新規事業等を中心にご説明いたします。

1. 子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○産婦健康診査事業 6,260千円 **新規**

産後2週間、産後1か月など、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援体制を構築します。

○子どもの医療費助成事業 386,929千円 **拡充**

令和7年7月1日から通院医療費助成の対象を高校生世代にまで拡充します。高校生世代の令和7年4月1日から6月30日までの診療分については7月1日以降に遡及して償還払いで助成します。未就学児から高校生世代まで、鳥栖市の児童全てに行き渡る医療費助成制度となります。

○認定こども園施設整備事業 261,372千円 **新規**

私立保育所から認定こども園への移行及び乳児等通園支援事業を併設するための施設整備に要する費用の一部を補助し、必要な保育定員を確保するとともに、多様な保育ニーズに対応するために子育て環境の整備を図ります。

4

まず、1つめ、「子育て支援と学校教育が充実した都市づくり」について「主な事業」をご説明いたします。

『産婦健康診査事業』につきましては、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援体制を構築するものです。

『子どもの医療費助成事業』につきましては、令和7年7月1日から 通院医療費助成の対象を高校生世代にまで拡充するものです。

なお、医療費助成にかかるシステム改修に時間を要しますことから、7月1日からの開始とせざるを得なかったところでございますが、4月から6月までの診療分につきましても、遡及して助成対象としたいと考えております。

また、今回、助成の対象を高校生世代にまで拡充することによって、本市におけるすべての児童への医療費助成制度が完成することとなります。

その他といたしまして、母子保健機能及び児童福祉機能双方の機能の一体的な運営を行うため、『こども家庭センター』を開設します。

1. 子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○水泳授業の民間委託検証事業 53,283千円 **拡充**

天候に影響を受ける小中学校の水泳授業時間の確保を行い、今後の水泳授業及びプール施設のあり方を検討するため、小学校全校に拡充し、試行的に民間委託を行います。



教科「日本語」

○教科「日本語」教科書改訂事業 7,822千円 **拡充**

児童生徒の日本語及び日本文化に関する知識や教養を育み、学力向上、国際化への対応、郷土愛の育成、市立中学校進学率の改善及び小中一貫教育の充実を図るため、教科「日本語」教科書をデジタル教科書に改訂します。

○移動図書館車購入事業 7,200千円 **拡充**

子ども達が「いつでも」「どこでも」読書活動ができる環境づくりのため、新移動図書館車を追加して運営し、図書資料を提供します。

○赤ちゃんへの絵本贈呈(ブックスタート)事業 768千円 **新規**

赤ちゃんとその保護者に絵本をプレゼントするとともに読み聞かせを行い、最初の本との出会いの場を提供することで、生涯にわたる読書習慣の形成につなげる取り組みを行います。

5

『水泳授業の民間委託検証事業』につきましては、今年度、若葉小学校で実証事業を行いました水泳授業の民間委託検証事業に関しまして、対象を全ての小学校に拡充し更なる検証事業を行うものです。

『教科「日本語」教科書改訂事業』につきましては、本市の特色のひとつでもあります、教科「日本語」に用います教科書を改訂するとともに、デジタル教科書に対応させるものです。

『赤ちゃんへの絵本贈呈(ブックスタート)事業』につきましては、読み聞かせを通して、親子のコミュニケーションを促進し、愛着形成に寄与する取り組みを行うものです。

1. 子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○学校給食費臨時支援事業 58,145千円（公費負担額）

学校給食費の令和5年度以降の増額分を、引き続き公費で負担し、保護者負担額を据え置きます。

○多子世帯学校給食費助成事業 41,011千円

多子世帯の子育ての経済的負担軽減と、子育て環境の一層の充実を図るため、第3子以降の子に係る学校給食費を助成します。

○保育所等給食費臨時支援事業 1,018千円

物価高騰による給食費への影響を回避するため、保育所等に対し材料費の増額相当分を公費により負担し、栄養バランスや量を保った給食実施の継続を図ります。

6

『学校給食費臨時支援事業』につきましては、令和5年度以降実施しております、学校給食費にかかる物価高騰分につきまして、保護者負担を 据え置き、引き続き公費で負担するものです。

1. 子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○旭小学校大規模改造事業 836,163千円

管理特別教室棟、普通教室棟の老朽化に伴う大規模改造工事を行います。



鳥栖市立旭小学校

7

『旭小学校大規模改造事業』につきましては、計画的に実施してきております小中学校の大規模改造事業につきまして、来年度は、旭小学校 管理特別教室棟、普通教室棟の老朽化に伴う大規模改造工事を行うものです。

2. 命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○防災備蓄事業 57,073千円 **拡充**

災害が長期に及び場合に被災者の避難生活の負担を軽減させるための物資等を整備し、避難所の生活環境の改善を図ります。

○防災井戸整備事業 80,217千円 **新規**

災害時の生活用水確保のため防災井戸を市内8地区の指定避難所等に整備します。

○防災行政無線設備更新事業 94,000千円 **新規**

現在の防災行政無線で利用している電波帯が将来的に使用できなくなることから、早期に代替する方法での無線システムを構築する設備の更新を行います。

○消防団第4分団(麓地区)地域防災拠点施設整備事業 6,424千円 **新規**

鳥栖市消防団の組織の見直しに伴い、消防格納庫の統廃合を行うとともに地域防災拠点施設を整備することにより、市民の安全安心の確保や利便性の向上を図ります。

8

重点戦略2つめの柱となります、「命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり」に関する「主な事業」を申し上げます。

ここに掲げております『4つの事業』に関しましては、本市の防災力を向上させるために欠くことのできないものとして計画しているものです。

『防災井戸整備事業』につきましては、災害の発生により、水道施設等へ被害が発生した場合、長期間の断水が想定されることへの対応として、井戸水による生活用水の確保を図るものでございます。

2. 命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○災害ハザードマップ作成事業 11,800千円 **新規**

県河川の浸水想定区域の見直しにあわせ、河川・高潮の浸水想定区域、土砂災害（特別）警戒区域を合わせた複合型の災害ハザードマップを更新し、全戸に配布します。

○内水浸水想定区域図作成及び3D都市モデル整備事業 33,000千円

内水の災害リスクを可視化し、防災意識の高揚を図るため、内水浸水想定区域図を作成し3D都市モデルとして整備を行います。



3D都市モデルによる浸水リスク表示のイメージ
(国土交通省PLATEAU(プラトール))

○河川浚渫改良事業 226,360千円

基里地区の大野川において、護岸が老朽化していることから、雨水対策とあわせて改修工事を実施します。また、準用河川等の浚渫などを行います。

9

次に、ここに掲げております『3つの事業』に関しましては、近年、激甚化する豪雨災害をはじめ、浸水被害の軽減並びに市民の皆様の意識向上に資することを目的に計画しているものでございます。

2. 命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○予約型乗合タクシー実証運行事業 10,099千円 **新規**

高齢者等の交通弱者や、公共交通の利用が不便な地域への新たな移動手段として、本年秋以降の「予約型乗合タクシー実証運行」に向けた準備（システムの構築等）を行います。



10

『予約型乗合タクシー実証運行事業』につきましては、長年の懸案で ございます、高齢者等の交通弱者や、公共交通の利用が不便な地域への 新たな移動手段の確保策といたしまして、「予約型乗合タクシー実証運行」に向けた、システムの構築等の準備を行うものです。

この「予約型乗合タクシー」でございますが、利用者の予約に応じて AIが最適なルートを選択しながら運行する新しい乗合型の公共交通手段でございます、実証運行により本市における適性を見極めてまいりたいと考えております。

3. 暮らしに活力と豊かさを感じる都市づくり

○サガン鳥栖支援事業(地域交流推進事業等) 61,143千円

新規

拡充

2025シーズンにJ1復帰を目指すサガン鳥栖への支援を行います。

- ・2025シーズン公式戦ホームゲームの市民招待事業
新たに8,000人規模の市民招待を行います。
- ・2025シーズン「ユニフォームスポンサー」権の購入



市民招待事業

その他

- ・2025シーズン公式戦における駅前不動産スタジアム使用料の免除
広告料はピッチのみ免除します。
- ・市民招待事業(令和7年2月臨時会) 16,452千円
4,000人規模の市民招待を行います。
- ・既存事業(令和7年度当初予算) 12,964千円
冠試合開催、中学校交流事業等を行います。



駅前不動産スタジアム

サガン鳥栖支援 総事業費 約1.3億円

39,000千円

11

重点戦略3つめの柱となります「暮らしに活力と豊かさを感じる都市づくり」に関する「主な事業」を申し上げます。

本市にとりまして「サガン鳥栖」という存在は、スポーツ振興の柱であり、子どもたちの夢や希望であり、鳥栖という存在を全国区へと押し上げてくれる地域の宝であると考えております。

そのサガン鳥栖の1年でのJ1復帰に向け、令和7年度に限り、行政として取りうる最大限の財政支援を提案いたしたいと考えております。

総事業費といたしましては、既存事業分も合わせまして、約1億3千万円規模を計画しております。

3. 暮らしに活力と豊かさを感じる都市づくり

○全国大会等開催補助金 2,700千円

新規

本市を主たる会場とする全国又は九州地区規模のスポーツ大会やイベント等を開催する主催者に開催補助金を交付します。

○スポーツ振興及び文化芸術振興奨励金 2,150千円

新規

スポーツ及び文化・芸術の分野で成績が優秀な市民及び市内で活動する団体に奨励金を交付します。

○がんばる子どもたちへの奨励金 850千円

拡充

スポーツ及び文化・芸術の分野で頑張っている児童・生徒等が、全国を対象とした大会、文化芸術表彰及び舞台・研究発表等に出場又は出席する際に奨励金を交付します。文化・芸術分野については対象受賞者の範囲を拡大します。

12

次に『全国大会等開催補助金』につきましては、交通の要衝として地理的優位性を

発揮し、市内外に本市のポテンシャルを PR することを目的といたしまして、本市を主たる会場とする全国又は九州地区規模のスポーツ大会やイベント等に対しまして、補助金を交付したいと考えております。

また、このことをきっかけとして、各種イベントの開催場所として選ばれることによって、新たな人流の創出や賑わいづくりに繋げてまいりたいと考えております。

『スポーツ振興及び文化芸術振興奨励金』につきましては、スポーツ 及び文化・芸術の分野で成績が優秀な市民及び市内で活動する団体を 奨励する制度も創設するものです。

3. 暮らしに活力と豊かさを感じる都市づくり

○鳥栖駅東賑わい創出事業負担金 10,000千円 新規

都市広場を中心とした鳥栖駅東側エリアで、佐賀県等と共同してイベントを開催することにより、本市の賑わいを創出し、交流人口の拡大や地域の活性化を図ります。



鳥栖駅東側エリア



R6年12月のイベントの様子（都市広場）

13

『鳥栖駅東賑わい創出事業負担金』につきましては、佐賀県の玄関口でもある鳥栖駅周辺の中でもとくに、鳥栖駅東側エリアを中心に、佐賀県との共同によるイベントを開催したいと考えております。

イベントの具体的内容等に関しましては、今後、佐賀県とともに実行委員会を立ち上げ、プロスポーツチームや地元の皆様の意見もうかがいながら、検討してまいりたいと考えております。

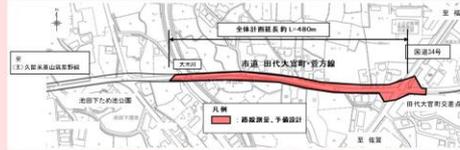
4. まちのポテンシャルを高める都市づくり

○田代大官町・萱方線等道路改良事業 153,114千円

車両や歩行者等の円滑で安全な通行確保のため道路改良等を行います。

○田代大官町・萱方線等道路改良事業(2工区) 17,000千円 **新規**

道路改良に必要な調査業務等を行います。



田代大官町・萱方線等道路改良事業(2工区)

○国土交通省・今町線等道路改良事業 79,719千円

道路改良に必要な調査業務等を行います。

14

重点戦略4つめの柱となります「まちのポテンシャルを高める都市づくり」に関する「主な事業」を申し上げます。

『田代大官町・萱方線等道路改良事業』をはじめとする3事業につきましては、着実な市道整備を進めるためのものがございます。

4. まちのポテンシャルを高める都市づくり

○空家等対策事業 5,120千円 **拡充**

適切な管理が行われていない空き家等を抑制するため、除却等の対策に加えて、空き家の利活用について補助を拡充することで、生活環境の保全を図ります。

○立地適正化計画策定事業 9,988千円

将来の人口減少、超高齢社会等の課題に対応するため効率的な市街地形成に向けた、立地適正化計画を策定します。



立地適正化計画イメージ図(国土交通省)

15

次に『空家等対策事業』や、その下の『立地適正化計画策定事業』につきましては、適切な住宅地の管理や効率的な市街地形成を目的とするものがございます。

4. まちのポテンシャルを高める都市づくり

○鳥栖駅周辺整備事業(鳥栖駅東短期施策) 40,837千円

鳥栖駅等の鉄道施設で分断されている中心市街地の東西連携などの課題解決に向けた取組施策として、まずは、鳥栖駅東側の利便性向上などを目的とした短期施策の検討を行います。

○鳥栖駅周辺駐車場整備事業 22,000千円 **新規**

鳥栖市土地開発公社から買い戻した、先行取得用地を有効活用するため、駐車場として整備します。

16

次に『鳥栖駅周辺整備事業(鳥栖駅東短期施策)』につきましては、鉄道施設で分断されている中心市街地の課題解決に向けた短期施策の検討を行うものでございます。

5. 市民と環境にやさしい都市づくり

○若葉まちづくり推進センター改修事業 58,000千円

若葉まちづくり推進センターの公共施設等総合管理計画に基づく館内空調設備の改修及び経年劣化により損耗したジョギングロードの改修等を行います。

○自治公民館建設等補助金 1,310千円

地域における住民交流等の拠点である自治公民館の新築・増築又は改修に係る工事に対し、補助を行います。

17

重点戦略5つめの柱となります「市民と環境にやさしい都市づくり」に関する「主な事業」を申し上げます。

『若葉まちづくり推進センター改修事業』と『自治公民館建設等補助金』につきましては、それぞれ、地域の活動拠点の整備を目的としたものでございます。

5. 市民と環境にやさしい都市づくり

○九畝谷線道路改良事業 14,600千円 **新規**

次期リサイクル施設整備事業に伴い、市道の付替えが行われ、それに合わせて道路拡幅を行うことで、リサイクル施設の周辺環境の整備を行います。

○次期リサイクル施設整備事業(埋蔵文化財発掘調査事業) 26,000千円

次期リサイクル施設事業用地について、埋蔵文化財調査を行います。

○旧ごみ焼却施設解体及びストックヤード整備事業 1,115,525千円

真木町の旧ごみ焼却施設を解体し、跡地を資源物回収拠点として活用するため、資源物のストックヤード(一時保管場所)を整備します。

18

くせだに
次に『九畝谷線道路改良事業』以下の3事業につきましては、立石町で計画されております次期リサイクル施設整備事業に伴う事業などがございます。

6. 産業と観光の魅力を高める都市づくり

○さが園芸888整備支援事業費補助金 17,788千円 **拡充**

園芸農業の振興を図るため、地域における農業の担い手となる農業者に対して、施設整備費や機械等の導入費用の一部を補助します。令和7年度より、農業の収益性をさらに高めるため補助の拡充を行います。



農業機械

○経営体育成基盤整備事業 21,680千円

三島江島地区の農業用施設が老朽化していることから、再整備を行うための事業計画を策定します。

○市民の森整備事業 5,700千円

市民の森の遊歩道の整備、支障木の伐採等を行います。



鳥栖市民の森

○企業立地等奨励金 41,722千円

市内に事業所等の新設、増設、移設又は移転を行う企業に、奨励金を交付します。

19

重点戦略6つめの柱となります「産業と観光の魅力を高める都市づくり」に関する「主な事業」を申し上げます。

『さが園芸888整備支援事業費補助金』につきましては、高収益作物等への転換を図る農業者への支援を拡充するものです。

三島江島地区における『経営体育成基盤整備事業』につきましては、当該地区の農業用施設の再整備を行うための事業計画を策定するものです。

『市民の森整備事業』につきましては、近年の集中豪雨等により毀損しております遊歩道の整備や、繁茂している支障木の伐採等を行うことで市民の皆様が利用しやすい、市民の森に整備するものでございます。

6. 産業と観光の魅力をもつ都市づくり

○マンホールカード作成事業 1,142千円 **新規**

サガン鳥栖に関連するデザインのマンホール蓋の作製及びマンホールカードを作成し、新たな観光資源とし、本市への誘客を図ります。



マンホールカード（イメージ）

○観光イベント推進補助金 6,750千円

市内で開催されるイベントに対する支援を行うとともに、市内の観光振興を図るため、鳥栖観光コンベンション協会に補助金を交付します。

○勝尾城筑紫氏遺跡保存整備事業 16,425千円 **拡充**

史跡の保全、環境整備を行います。また、史跡の公有化及び史跡整備基本計画の改訂を図り、施設の整備を促進します。

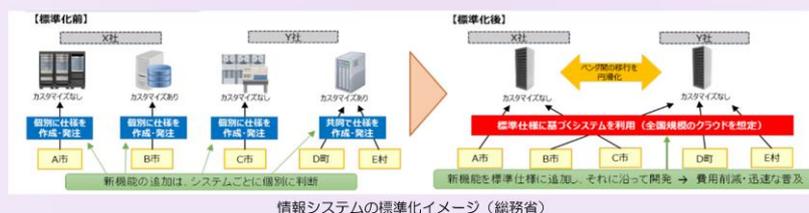
20

次に『マンホールカード作成事業』でございますが、サガン鳥栖に関連するマンホールデザインを採用いたしまして、その図案をモチーフとして、全国的にも人気の「マンホールカード」を作成するものです。

7. 効果的・効率的な行政運営のための行財政改革

○自治体DX推進事業 161,362千円

自治体情報システムの標準化・共通化や行政手続きのオンライン化を推進し、業務の効率化や住民の利便性の向上を図ります。



21

最後に重点戦略7つめの柱となります「効果的・効率的な行政運営のための行財政改革」に関する「主な事業」を申し上げます。

『自治体DX推進事業』につきましては、本市の情報システムの標準化や共通化、

行政手続きのオンライン化を推進し、さらなる業務の効率化と市民の皆様の利便性向上を図るものです。

その他の事業

○地域おこし協力隊支援事業 11,169千円 新規

3大都市圏または政令指定都市から本市へ定住し、知識と技能で地域産業の魅力を発掘するとともに、その特徴を生かしたまちづくりの推進を行う「地域おこし協力隊」を募集し、その活動を支援します。

○国勢調査経費 34,040千円

令和7年度は、5年に1度実施される、大事な国勢調査の年にあたることから、少子高齢化、就業・雇用や地域の状況などの実態を明らかにし、重要課題の施策に欠くことのできない統計データの提供に取り組むため、鳥栖市に住むすべての人と世帯を対象にした国勢調査を行います。

○ふるさと「とす」応援寄附金事業 212,282千円

謝礼品の募集・開発等を行うとともに、ポータルサイト等を通じた効果的なプロモーションを行います。

22

その他の事業について、主なものとして、ここに掲げております『3つの事業』を予定しており、今後取り組んでまいりたいと考えております。

その他の主な議案

- 第 1号 鳥栖市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例
- 第 2号 鳥栖市情報公開・個人情報保護審査会設置条例等の一部を改正する条例
- 第 3号 鳥栖市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 第 4号 鳥栖市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 第 5号 鳥栖市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- 第 6号 鳥栖市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 第 7号 鳥栖市子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 第 8号 鳥栖市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 第 9号 鳥栖市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 第10号 鳥栖市資源物広場条例
- 第11号 鳥栖市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例
- 第12号 鳥栖スタジアム条例の一部を改正する条例
- 第13号 鳥栖市消防団条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 第14号 鳥栖市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 第15号 鳥栖市条例を廃止する条例の一部を改正する条例
- 第16号 佐賀県市町総合事務組合規約の変更について
- 第17号 鳥栖市固定資産評価審査委員会委員の選任について ※後送議案

23

次に、その他の主な議案といたしまして、1件の条例制定と14件の条例改正を予定しております。

令和6年度3月補正予算

○県営経営体育成基盤整備事業 58,860千円

下野地区農業用施設の老朽化が進んでいるため、経営体育成基盤整備事業として再整備を行います。

○防災重点ため池整備事業 7,000千円

ため池の防災対策を進めるため、ため池の劣化状況など調査を実施します。
対象のため池：池田（上）ため池

24

次に、令和6年度3月補正予算案の主なものといたしましては、『県営 経営体育成基盤整備事業』ならびに『防災重点ため池整備事業』などを予定しております。

令和6年度3月補正予算・令和7年度当初予算

令和6年度 3月補正予算 Δ 4億5,255万7千円
(補正後 343億6千円)

令和7年度 当初予算 336億7,695万2千円
(前年比 +33億9,799万7千円 +11.2%)

- 過去最大の当初予算額
- 主な増額理由：旧ごみ焼却施設解体事業 11.2億円
旭小学校大規模改造事業 8.4億円 など

25

最後になりますが、令和6年度3月補正予算といたしまして、4億5,255万7千円を減額補正し、補正後の予算額は343億6千円となります。

そして、令和7年度当初予算につきましては、一般会計予算の総額が336億7,695万2千円となり、前年度当初予算と比較いたしますと、33億9,799万7千円、率にして11.2%の増となっております。令和7年度当初予算につきましては、過去最大の予算額となりますが、主な要因といたしましては、真木町にございます旧ごみ焼却施設解体事業や、旭小学校大規模改造事業などの大型事業によるものでございます。